

JOSKAS-JOSSM 2022

第14回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
第48回 日本整形外科スポーツ医学会学術集会

ランチョンセミナー19 [LS19]

変形性膝関節症に対する 人工膝関節置換術の 適応および術後回復について

日時

2022年**6月18**日(土)
12:00-13:00

会場

第4会場

札幌コンベンションセンター 1階 107+108
〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

座長

池内 昌彦 先生

高知大学医学部 整形外科学教室 教授

演者

出家 正隆 先生

広島市立広島市民病院 副院長
愛知医科大学 整形外科学講座 名誉教授

認定単位:

必須分野(N):[12] 膝・足関節・足疾患

共催: JOSKAS-JOSSM 2022

科研製薬株式会社/生化学工業株式会社

JOSKAS-JOSSM 2022

第14回 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
第48回 日本整形外科スポーツ医学会学術集会

ランチョンセミナー19

変形性膝関節症に対する 人工膝関節置換術の 適応および術後回復について

出家 正隆 先生

広島市立広島市民病院 副院長 / 愛知医科大学 整形外科学講座 名誉教授

変形性膝関節症(膝OA)は退行性疾患であり加齢とともに進行することは避けられない。その保存療法のガイドラインでは、コア療法として、膝OAの病態、診断、治療に関する教育、運動療法プログラムの実施、体重管理が従来と同様に基本療法として強調されている。このコア療法は、継続させることが難題で、いかに患者にモチベーションを維持させるかが課題である。一方、手術療法に至った症例には、我々整形外科医の最終手段として、人工膝関節置換術(TKA)が行われている。しかしこのTKAは、いつ、どのような病状で試行されるのが最も患者に効果的であるのか不明である。現状TKAの適応は、重度の膝OAで保存的治療や他の手術方法では改善が得られない場合とされるが、明確でない。本講演では、筋力回復の面からの研究から得た知見をもとに、膝OAの保存療法、TKAの適応時期及びその後の回復での注意点について述べる。